

甲突川千本桜再生プロジェクトの検討に関する サウンディング型市場調査の結果概要

甲突川河畔における市場性の有無や利活用のアイデア・ノウハウを把握し、今後のプロジェクト策定に向けた検討の参考とすることを目的に、民間事業者を対象にしたサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果を公表します。

1 実施期間

アンケート調査の回答：令和 7 年 5 月 12 日（月）から 5 月 30 日（金）

事前説明会：令和 7 年 6 月 4 日（水）

対話調査の実施：令和 7 年 6 月 16 日（月）～6 月 19 日（木）、6 月 24 日（火）

2 参加事業者

アンケート調査の回答：10 社

事前説明会：8 社

対話調査の実施：8 社

※業種内訳：総合商社、飲食業、公園遊具メーカー、水辺アクティビティ事業者など

3 主な意見等

民間事業者の視点から、様々な意見やアイデア、本市への要望をいただきました。主な意見等の内容は、以下のとおりです。

【市場性について】

- 駅のように常時多くの人がいる場所ではない。現在の公園利用者だけでは、収益の確保が困難であるため、マルシェやイベントなどにより、来訪目的を別に作ることがポイントである。
- 民間活用の観点から見ると集客が見込めるのは上流側である。
- 西田橋－高見橋エリアは加治屋町 1 番街区の再開発エリアも近く、集客が見込める。天保山橋辺りも桜島との景観をうまく活用すれば可能性が高まる。

【施設整備関連について】

- カフェなどの施設単体では、収益の確保は難しいため、収益施設に隣接した場所への駐車場整備は必要である。
- 魅力的な公園が完成しても駐車場が無ければ、周囲の駐車場を探すことになるため、それでも利用の制限がかかる場合がある。
- 騒音対策は必要だが、BBQ エリアやドッグラン等の整備は集客が見込める可能性がある。

- チャレンジ shop の貸出等による参入しやすい計画も必要ではないか。
- 芝生を植えてしまうとイベント時に火気の使用に制約が生じたり、物が置けなかったりする場合がある。
- 当該地の特徴として縦に長い緑地であるため、施設等はゾーン毎に 1 箇所を集約した方が滞在しやすいのではないか。

【水辺活用関連について】

- 現在、甲突川では観光船の運航や SUP、カヤック体験など、水辺を活用したアクティビティを行っており、さらなる水辺のにぎわいを創出できれば緑地側としても相乗効果が得られる。活用しないともったいない。
- 鹿児島県も水辺の利活用について検討をしているため、ぜひ連携してほしい。

4 今後の進め方

プロジェクトの策定に向けて、本調査の意見等も参考にしながら、民間活力の導入等について検討していきます。